

運送業界の健康支援を生きがいに

88 「SASお悩み無料相談会」開設

全ト協のSASスクリーニング検査のモデルとして、平成16年度からスタートした当法人の「パルちゃん(パルスオキシメータ)」検査。早いもので、もう8年。その間、全ト協からはSAS検査実施後のフォローアップ調査や、「トラックドライバーのためのSAS対策検討委員会」の座長、事務局を仰せつかり、SASスクリーニング検査の草分け機関としての自負を感じながら、事業者様の目線で、今ここに至っています。

■ドライバーは全員のSAS検査を

そのような中で私が最近、特に懸念していることの1つに、SAS検査の対象者をすでに会社で絞り込んでおられるということがあります。「NASVAのSAS問診チェックで疑いがあったから」「事故をした

から」と気になる人のみをピックアップされて、ドライバー100人規模の会社でも検査を受けるのはわずか2、3人というケースが珍しくありません。

ところが、トラックドライバーのSAS確率は約2割(重症者は5%)、さらにSAS者の6割が「自分がSASなんて思ってもみなかった」と答えています。全員の検査をしなければ、重症のSAS者を見つけ出すことが出来ませんので、まずは全員の検査が必要です。

■事業者からの相談内容 さて、当法人には今まで全国の事業者やドライバーから、実に多くの声が寄せられてきました。「SAS検査は何年に一度がよいのか?」「荷主から検査の条件を出されているが、その進

め方は?」など取り組みに前向きな相談から、「精密検査の金額が高すぎて、ドライバーには勧めにくい」「医療機関が近隣にない、予約を取りにくい」中には「検査は実施したが、社内のフォロー体制が出来ていないので、やりっぱなし...もうSAS検査はやらない」という苦情ともとれる悲しいお話を聞くこともあります。

■11月から無料相談会をスタート

そこで、このようなお悩みの事業者様へのアドバイスを中心に、さらにきめ細かくSAS検査前後のサポートができないかと考え、事業者様向けサービス「SASお悩み無料相談会」を開設することになりました。「啓発検査フォロー」までを一連と捉えて展開しているOCHISの「SASノウハウ」をこの機会にぜひご活用ください。

■11月7日、21日(土)PM5時～

■OCHIS大阪オフィス(大阪府トラック総合会館内)

■要事前電話予約 *詳しくは、OCHISHPをご覧ください。

(次回は11月12日号に掲載)



《全日本トラック協会・大阪府トラック協会 SAS検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)
理事 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL : 06-6965-3666
FAX : 06-6965-5261
東京オフィス TEL : 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP <http://sas.ochis-net.jp/>